

## Vision Sciences Society 18<sup>th</sup> Annual Meeting 参加報告書

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系修士1年

野村 圭史（四本研究室）

広域科学専攻による「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」を受けて、アメリカ合衆国フロリダ州セント・ピート・ビーチにて開催されたVision Sciences Society 18<sup>th</sup> Annual Meetingに参加してきました。第十八回となる今回の会議は平成30年5月18日から平成30年5月23日の6日間にわたって開催され、実験心理学・神経科学・コンピュータビジョン・人工知能・臨床といったさまざまなアプローチから視覚を研究する研究者たちが集まり、1400件を超える発表が行われました。

私は5月19日に” Effects of Transcranial Electric Stimulation to Early Visual Areas on Regional BOLD fMRI Activity During Visual Task ”という題でポスター発表を行いました。視覚課題遂行時の視覚皮質への経頭蓋電気刺激がfMRIで計測される脳活動に及ぼす影響を、電流の性質を様々に変化させて比較検討した研究です。具体的な質問やコメントをたくさんいただけただけでなく、様々な発表を聴く中で最新の研究動向を知ることができ、非常に有意義で新鮮な知的経験を得ることができました。この経験を今後の研究に活かしていきたいと思います。

